

ロタウイルスワクチン予防接種について

【 病気の説明 】

ロタウイルスは、乳幼児にみられる胃腸炎の主な原因のひとつです。多くの場合は、突然の嘔吐、発熱に続き、水溶性下痢を起こし白色の下痢便が特徴的です。ほとんどの場合は、特に治療を行わなくても自然に回復します。しかし、下痢や嘔吐が続くことによる脱水や腎不全のため入院治療が必要になったり、まれに脳症といった合併症を起こしたりすることがあります。

【 ワクチン接種前の注意点 】

- 初回1回目の接種は、出生6週0日後から接種できますが、標準的な接種時期とし、出生8週0日後からの接種を勧めています。出生15週0日以降の初回接種はおすすめしていません。(厚生労働省による)
- 赤ちゃんのお腹がいっぱいと、上手にワクチンが飲めない場合がありますので、接種直前(30分以内)は授乳を控えることをお勧めします。なお、ワクチンがうまく飲めなかったり、吐いたりしてしまった場合でも、わずかでも飲み込みが確認できていれば、ワクチンの効果に問題はありませんので、再度接種する必要はありません。

【 ワクチンの効果と種類 】

ロタウイルスワクチンを接種することで、重症胃腸炎を減らすことができます。ワクチンは2種類あり、どちらも生ワクチン(弱毒化したウイルス)で、飲むワクチンです。医療機関で相談し、どちらかのワクチンを選んでください。

ワクチンには1価生ワクチン(ロタリックス)と5価生ワクチン(ロタテック)があり、接種方法は経口接種です。どちらのワクチンも効果は同等で、2回目以降も1回目と同じワクチンを接種します。ロタウイルスの感染による胃腸炎を約8割予防することができます。ただし、ロタウイルス以外の原因による胃腸炎には予防効果を示しません。

●腸重積の発症を高める可能性のある先天性の消化管障害（メッケル憩室など）や腸重積症の既往があるお子さん、重症複合型免疫不全（SCID）のあるお子さんは、接種することができません。このほかにも、接種を中止したり、延期したりしたほうがよい場合もありますので、かかりつけ医と相談してください。

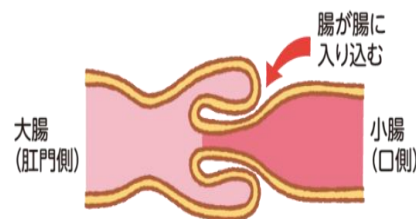
【 接種開始時期による接種間隔・接種回数 】

出生6週0日後からから24週0日後までの間にある者（1価：ロタリックス）
出生6週0日後からから32週0日後までの間にある者（5価：ロタテック）

【 ワクチン接種後の注意点 】

ワクチン接種後（特に初回接種後）1週間くらいの間は、腸重積症にかかりやすくなると報告されています。接種後1～2週間は、下記の症状に注意し、このような症状に気づいたら、すみやかに接種した医療機関を受診してください。接種した医療機関とは別の医療機関を受診する場合は、このワクチンを接種したことを医師に伝えてください。

- 泣いたり不機嫌になったりを繰り返す
- 嘔吐を繰り返す
- ぐったりして顔色が悪くなる
- 血便がでる



（厚生労働省提供）

ちょうじゅうせきしょう

【 腸重積症について 】

腸重積症とは、腸の一部が腸の他の部分に入り込み、腸が閉塞した状態のことです。ロタウイルスワクチンの接種にかかわらず、3か月から2歳くらいまでの赤ちゃんがかかりやすい、腸の一部が隣接する腸管にはまり込む病気で、速やかな治療が必要です。主な症状は、嘔吐を繰り返す、泣いたり、不機嫌になったりを繰り返す（お腹の痛みのため、激しく泣いたり、不機嫌になります）、痛みが出たりおさまったりを繰り返すので、症状がないときもあります）、ぐったりとして元気がない、血便（粘液と血が混じったような便）が出るなどです。腸重積症は、手術が必要になることもありますが、発症後、早く治療すれば、ほとんどの場合、手術をせず治療できます。

～共通事項～

【 健康被害救済制度 】

定期予防接種の副反応による健康被害が生じた場合は国の健康被害救済制度があります。ヒブワクチン・小児肺炎球菌ワクチン・B型肝炎ワクチン・ロタウイルスワクチン接種と健康被害と因果関係を厚生労働大臣が認定した場合は以下の救済が受けられます。

- ①医療費および医療手当
- ②障害児養育年金
- ③障害年金
- ④死亡一時金
- ⑤葬祭料
- ⑥介護加算

※給付申請の必要が生じた場合には、診察した医師、保健センター（予防接種担当）にご相談ください。

【接種にあたっての注意事項】

◎この説明書をよく読み、理解をしてから接種を受けるようにしましょう。

◎沼津市指定の医療機関(一覧表以外の医療機関)で定期予防接種を希望する場合は・・・

必ず接種前に「予防接種実施依頼書」の発行申請が必要ですので、保健センターまでご連絡ください。

※依頼書の発行がされるまでに、数日(土日祝日、年末年始を除く)を要しますので、余裕をもって申請してください。

●重篤な疾患にかかっていたなど、長期療養をしていたため、定期接種の対象年齢・期間に接種できなかった場合はお問い合わせください。

○子どもの体調をよく知っている保護者が連れて行きましょう。

○予診票は、医療機関にありますのでその場で記入してください。

○体温は、接種前に医療機関で測ります。

○予約制の医療機関がほとんどですので、裏面の実施医療機関一覧表で確認してください。

●医療機関に行くときの持ち物

★接種券(無料となります。)

★母子健康手帳(接種記録を記入します。)

★保険証とこども医療費受給者証

(診察の結果、具合が悪く、接種できなかったときに必要となります。)

お子さまの健康が気になるときだからこそ、

予防接種と乳幼児健診は、遅らせずに、予定通りに受けましょう。

予防接種や乳幼児健診は、お子さまの健やかな成長のために一番必要な時期に沼津市からお知らせをしています。特に赤ちゃんの予防接種を遅らせると、免疫がつくのが遅れ、重い感染症になるリスクが高まります。

予防接種のタイミングは、感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められています。

特に、生後2か月から予防接種を受け始めることは、お母さんからもらった免疫が減っていくときに、赤ちゃんがかかりやすい感染症から赤ちゃんを守るために、とても大切です。

出典：厚生労働省「新型コロナウイルス対策が気になる保護者の方へ」 より一部抜粋



【問い合わせ】

沼津市保健センター 055-951-3480

戸田分館 0558-94-3970